

市長から市民のみなさんへ 94 市長白平博文

本市の都市としての性格は

「やまぐち経済月報」2009年6月号によると、直近の統計（平成19年度）では、本市の工業出荷額は7,816億1,000万円です。県下では、周南、防府に次いで第3位。以下、光、下関、宇部と続きます。一方、商業販売額では、上位は下関、山口、宇部（1,749億4,000万円）の順で、本市は県下で8番目（560億8,000万円）。宇部も山陽小野田も、平成の合併で中山間地域が増えましたが、それでも都市の性格は、山陽小野田は工業都市、お隣の宇部は商業都市といったところでしょうか。

み焼却炉など寿命の尽きかけた公共施設がひしめいていて、それぞれに財源をどう捻出^{ねんしゅつ}するのか、はたして合併特例債でどこまで賄えるのか。今、本市は「産みの苦しみの真っ只中にあります。市民のみなさんの冷静な議論と、英知の結集を期待したいところです。

新病院建設構想検討委員会から 中間答申が提出されました

7月6日、新病院建設構想検討委員会から、新病院建設の必要を訴える中間答申をいただきました。時間をかけ、多角的な検討を加えた末の結論と受け止めています。しかし、市立の新病院については、建設それ自体に賛否両論があるほか、場所の問題もあります。このほかにも、一部の学校の校舎、斎場、水処理センター、ご

▶ 中間答申を提出する新病院建設構想検討委員会 砂川功委員長



本市に関する県事業が決まりました

このたびの県議会で、今年度の県事業の追加分（本市関係は約10億円）が決まりました。湾岸道路の有帆架橋や、山陽地区にある3本の河川の護岸工事費などです。いずれも今年度事業に対する大幅上乘せで、何度も国や県に要望を続けた成果だと思いますが、事業の早期完成を期待しています。

市政懇談会

市長2期目の今後4年間のまちづくりについて、市長と副市長が地域にお伺いし市民のみなさんと意見交換するため、市政懇談会を中学校区ごとに開催します。

市の財政は、これまでの4年間の行財政改革が功を奏し、徐々に立ち直りつつあり“ふるさとの春まであと一歩”の状況です。

市民のみなさんのご意見をお聴かせください。

日	時	場 所	中学校区
7月25日(土)	14:00～15:30	小野田公民館	小野田
7月26日(日)	14:00～15:30	保健センター	厚 狭
8月 2日(日)	14:00～15:30	きらら交流館	竜 王
8月 8日(土)	14:00～15:30	埴生公民館	埴 生
8月 9日(日)	14:00～15:30	厚陽公民館	厚 陽
8月10日(月)	19:00～20:30	市役所3階 大会議室	高千帆

※お住まいの校区に限らずどちらの会場でも参加できます。